

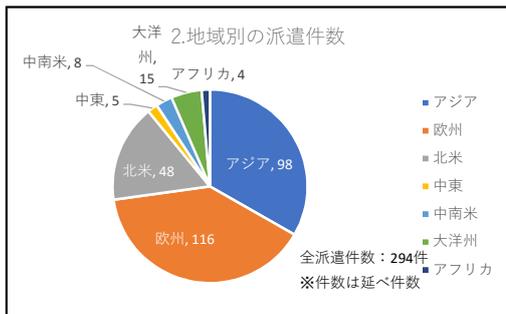
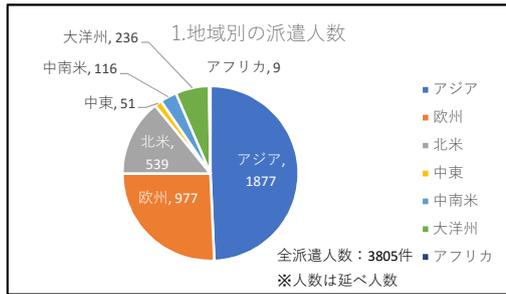
＜スポーツ国際交流のために行った派遣及び受入状況＞

- 「交流」とは、以下のものを指す。
 - スポーツを通じた諸外国との交流
 - 海外強化合宿（遠征等）
 - 諸外国との国際親善・交流試合、強化試合、合同合宿等
 - 指導者・審判員に対する技術講習、研修
 - 指導者の派遣 等

●対象期間は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までとする。

スポーツ国際交流のために行った派遣

平成27年度に、海外で行われた国際交流等へ派遣した日本の選手・スタッフ（競技団体役員・監督・コーチ・ドクター等）及び審判・クラシファイア（障がいによる不公平が生じないように、規則に従ってそれぞれの競技者を適切にグループ分けする資格を有する役員）の数を調査したものの。



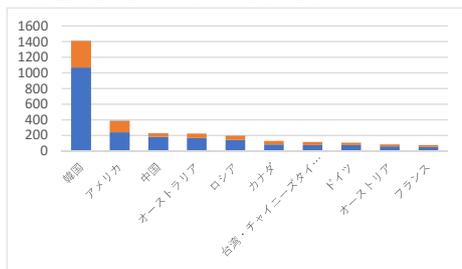
4. 派遣人数が多い競技（上位10競技）別の国・地域（上位3ヶ国・地域）

競技名	1	2	3	
①バレーボール(367)	韓国(137)	イタリア(44)	スイス(29) ブラジル(29)	その他(128)
②陸上競技(289)	アメリカ(80)	台湾・チャイニーズ タイペイ(65)	韓国(53)	その他(91)
③ホッケー(232)	オーストラリア(92)	アメリカ(25)	イギリス(24) ベルギー(24)	その他(43)
④体操(203)	ロシア(103)	韓国(29)	アメリカ(25)	その他(46)
⑤水泳(197)	アメリカ(62)	オーストラリア(34)	ハンガリー(32)	その他(69)
⑥バスケットボール(194)	韓国(87)	オーストラリア(22)	オーストリア(19) チェコ(19)	その他(18)
⑦ソフトボール(187)	韓国(54)	台湾・チャイニーズ タイペイ(47)	オーストラリア(29)	その他(57)
⑧ウエイトリフティング(178)	韓国(169)	アメリカ(8)	ウクライナ(1)	
⑨アイスホッケー(162)	ロシア(80)	ラトビア(28)	カナダ(27) 韓国(27)	
⑩フェンシング(148)	韓国(30)	フランス(28)	香港(23)	その他(67)

※カッコ（ ）の中の数字は派遣人数

※「各競技」には、「日本体育協会交流事業」を含む
ただし、日本体育協会交流事業のうち、「日独スポーツ少年団同時交流事業」（派遣人数70名）及び「日独スポーツ少年団指導者交流事業」（派遣人数8名）は特定の競技の交流事業ではなく、競技別に区分できないため、カウントしていない
※人数は延べ人数
※「その他」は派遣国上位3ヶ国以外をカウント

3. 派遣人数が多い上位10ヶ国・地域



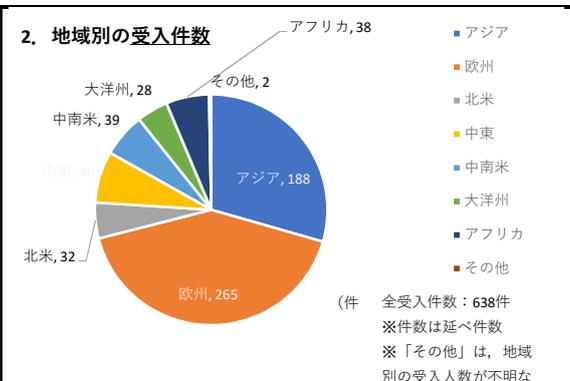
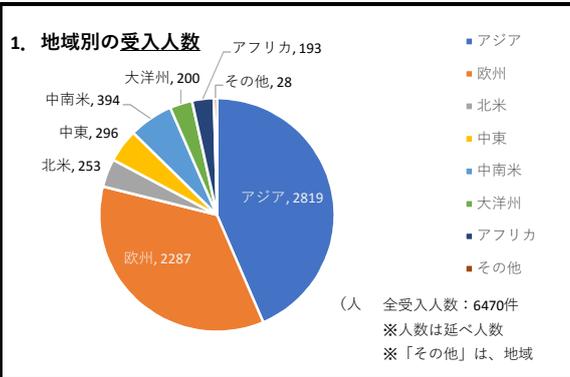
全受入国数：63国・地域
※人数は延べ人数
※特別行政区、自治領等は1国としてカウント

国・地域名	選手	スタッフ	審判	合計	主な派遣競技・事業
①韓国	1069	337	10	1416	ウエイトリフティング(169)、バレーボール(137)、サッカー(106)
②アメリカ	238	146	7	391	陸上競技(80)、水泳(62)、レスリング(48)
③中国	180	45	0	225	テニス(49)、武術太極拳(37)、卓球(34)
④オーストラリア	164	58	0	222	ホッケー(92)、水泳(34)、ソフトボール(29)
⑤ロシア	142	52	2	196	体操(103)、アイスホッケー(80)、水泳(7)
⑥カナダ	83	44	0	127	スケート(46)、カーリング(30)、アイスホッケー(27)
⑦台湾・チャイ ニーズタイペイ	74	40	1	115	陸上競技(65)、ソフトボール(47)、柔道(2)
⑧ドイツ	75	31	3	109	日独スポーツ少年団同時交流(70)、バスケットボール(17)、日独スポーツ少年団指導者交流(8)
⑨オーストリア	59	26	4	89	ラグビーフットボール(45)、バスケットボール(19)、フェンシング(14)
⑩フランス	51	25	0	76	フェンシング(28)、ラグビーフットボール(24)、体操(11)

※カッコ（ ）の中の数字は派遣人数

スポーツ国際交流のために行った受入

平成27年度に、日本で行われた国際交流等へ受け入れた日本の選手・スタッフ（競技団体役員・監督・コーチ・ドクター等）及び審判・クラシファイア（障がいによる不公平が生じないように、規則に従ってそれぞれの競技者を適切にグループ分けする資格を有する役員）の数を調査したものの。



4. 受入人数が多い競技（上位10競技）別の国（上位3か国）

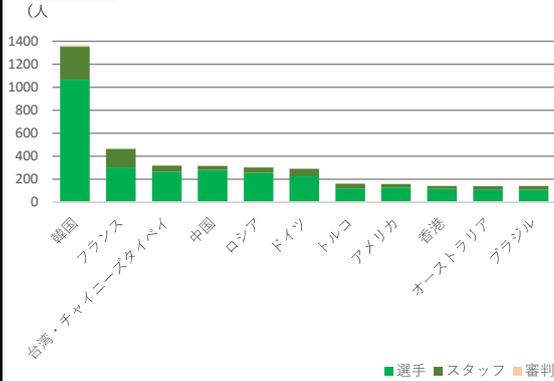
競技名	1	2	3	
①柔道(2622)	フランス(406)	ロシア(186)	中国(180)	その他(1850)
②サッカー(414)	韓国(90)	ミャンマー(49)	カンボジア(48)	その他(227)
③ボウリング(376)	韓国(98)	シンガポール(41)	中国(24)	その他(213)
④弓道(271)	台湾・チャイニーズタイペイ(52)	中国(25)	オーストラリア(23) フランス(23) 香港(23)	その他(125)
⑤ソフトテニス(258)	韓国(176)	台湾・チャイニーズタイペイ(68)	モンゴル(6)	その他(8)
⑥体操(219)	韓国(85)	スロベニア(30)	トルコ(17)	その他(87)
⑦水泳(191)	韓国(25)	インドネシア(20)	ブラジル(19)	その他(127)
⑧フェンシング(189)	香港(50)	ロシア(18)	アメリカ(15) ドイツ(15) フランス(15)	その他(76)
⑨ラグビーフットボール(146)	ウルグアイ(98)	オーストラリア(21)	オランダ(17)	その他(10)
⑩ソフトボール(137)	台湾・チャイニーズタイペイ(47)	韓国(42)	アメリカ(24) オーストラリア(24)	

※カッコ()の中の数字は受入人数

※「各競技」には、「日本体育協会交流事業」を含む
ただし、日本体育協会交流事業のうち、「日中青少年スポーツ団員交流事業」（受入人数28名）、「日中青少年スポーツ指導者交流事業」（受入人数8名）、「日独スポーツ少年団同時交流事業」（受入人数123名）、「日独スポーツ少年団指導者交流事業」（受入人数10名）及び「アジア近隣諸国青少年スポーツ指導者研修事業」（受入人数26名）は、特定の競技の交流事業ではなく、競技別に振り分けることが出来ないため、カウントしていない

※人数は延べ人数
※「その他」は受入国上位3か国以外をカウント

3. 受入人数が多い上位10か国・地域



全受入国数： 121国・地域
※人数は延べ人数
※国別の受入人数が不明の場合はカウントしていない
※特別行政区、自治領等は1国としてカウント

国・地域名	選手	スタッフ	審判	合計	主な受入競技・事業
①韓国	1066	287	14	1367	ソフトテニス(176)、ボウリング(98)、バレーボール(92)
②フランス	303	161	0	464	柔道(406)、弓道(23)、フェンシング(15)
③台湾・チャイニーズタイペイ	267	53	2	322	ソフトテニス(68)、ドッジボール(61)、弓道(52)
④中国	279	36	3	318	柔道(180)、弓道(25)、ボウリング(24)
⑤ロシア	254	47	2	303	柔道(186)、アイスホッケー(34)、フェンシング・水泳(18)
⑥ドイツ	224	67	2	293	日独スポーツ少年団同時交流(123)、柔道(128)、フェンシング(15)
⑦トルコ	120	39	0	159	柔道(115)、体操(17)、ブラインドサッカー(16)
⑧アメリカ	126	31	1	158	レスリング(32)、アイスホッケー・ソフトボール(24)、弓道(22)
⑨香港	118	22	3	143	フェンシング(50)、弓道(23)、ボウリング(22)
⑩オーストラリア	111	27	4	142	ソフトボール(24)、弓道(23)、ラグビーフットボール(21)
⑪ブラジル	108	33	1	142	柔道(103)、水泳(19)、レスリング(13)

※カッコ()の中の数字は受入人数

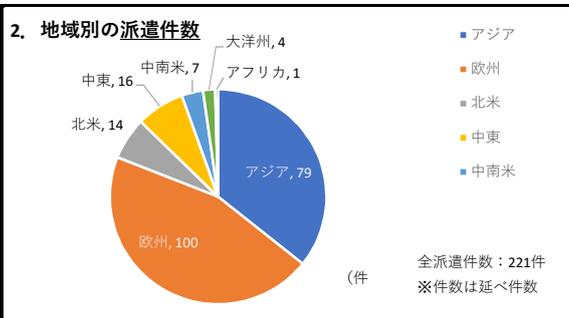
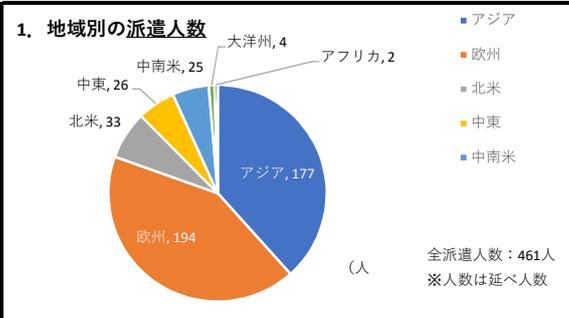
※地域は、外務省ホームページの区分に基づき、色別に分類

<国際会議等のために行った派遣及び受入状況>

- 「国際会議等」とは以下のものを指す。
国際競技連盟（IF）及びアジア競技連盟（AF）または国際機関が開催する会議
- 対象期間は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までとする。

国際会議等のために行った派遣

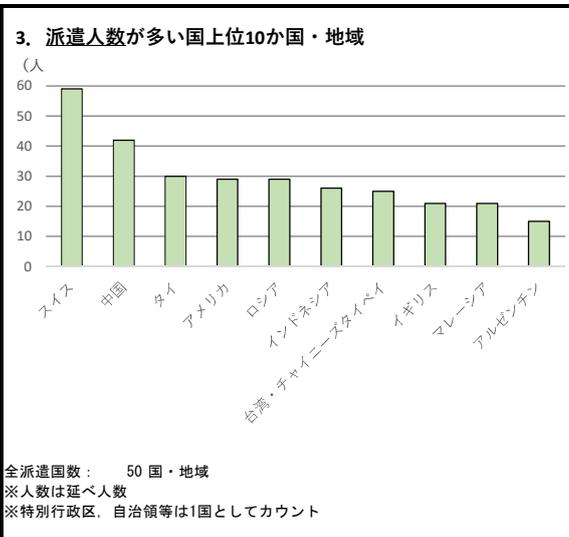
平成27年度に、海外で行われた国際会議等へ派遣した国内競技団体の役員等の数を調査したものの。



4. 派遣人数が多い競技（上位10競技）別の国（上位3か国）

競技名	1	2	3	
①スキー(40)	アルゼンチン(15)	スイス(14)	ブルガリア(11)	
②卓球(29)	中国(13)	マレーシア(9)	タイ(3)	カナダ(1)
③体操(22)	スイス(11)	オーストラリア(3)	カタール(2)	
④水泳(20)	ロシア(13)	ハンガリー(4)	ブラジル(2)	シンガポール(1)
④空手(20)	インドネシア(13)	香港(6)	フランス(1)	
⑥バレーボール(19)	スイス(11)	タイ(5)	サウジアラビア(3)	
⑦スケート(17)	スイス(6)	タイ(4)	スペイン(2)	その他(3)
⑧フェンシング(16)	中国(5)	ロシア(4)	スイス(2)	
⑨ラグビー(15)	イギリス(7)	アイルランド(4)	ウズベキスタン(2)	
⑨陸上競技(15)	中国(7)	カタール(3)	フィリピン(1)	
		モナコ(3)	マレーシア(1)	

※カッコ（ ）の中の数字は派遣人数
※ただし、日本オリンピック委員会が行った派遣（派遣人数57名）は特定の競技の国際会議等ではないため、カウントしていない
※人数は延べ人数
※「その他」は派遣国上位3か国以外をカウント



国・地域名	合計	主な派遣競技
①スイス	59	スキー(14)、日本オリンピック委員会・体操・バレーボール(11)、スケート(6)
②中国	42	卓球(13)、陸上競技(7)、フェンシング(5)
③タイ	30	アーチェリー(8)、バレーボール(5)、スケート(4)
④ロシア	29	水泳(13)、フェンシング・ハンドボール(4)、ソフトテニス・チャイレーディング・相撲(2)
⑤アメリカ	29	日本オリンピック委員会(8)、ソフトボール(7)、トライアスロン(6)、ウエイトリフティング(3)
⑥インドネシア	26	空手(13)、日本オリンピック委員会(6)、武術太極拳(4)、カヌー(3)
⑦台湾・チャイニーズタイペイ	25	野球(8)、トライアスロン(6)、日本オリンピック委員会(4)、近代五種(3)
⑧イギリス	21	ラグビーフットボール(7)、ボート(6)、障がい者スポーツ協会(5)
⑧マレーシア	21	卓球(9)、ソフトボール(5)、日本オリンピック委員会(4)、スカッシュ・ホッケー・陸上競技(1)
⑩アルゼンチン	15	スキー(15)

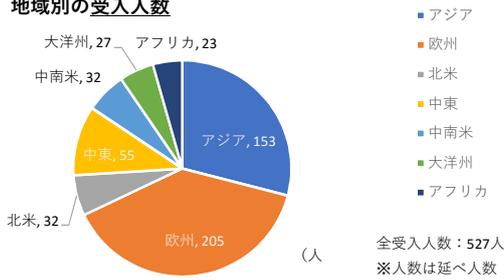
※カッコ（ ）の中の数字は派遣人数

※地域は、外務省ホームページの区分に基づき、色別に分類

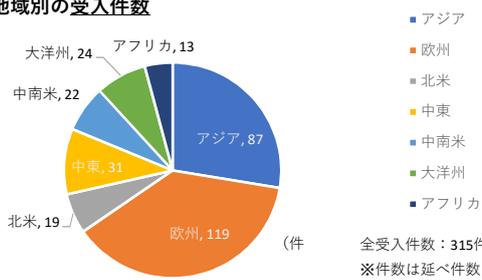
国際会議等のために行った受入

平成27年度に、日本で行われた国際会議等へ受け入れた国外競技団体の役員等の数を調査したものを。

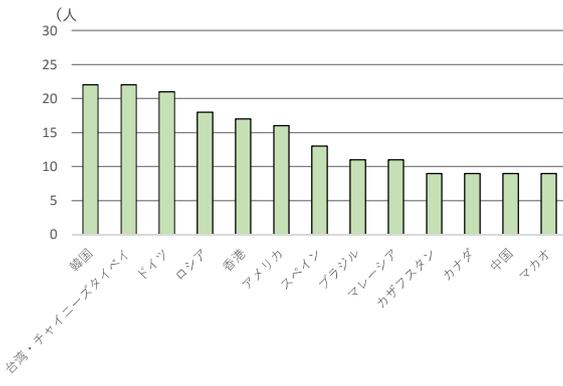
1. 地域別の受入人数



2. 地域別の受入件数



3. 受入人数が多い上位10か国・地域



全受入国数：120国・地域
※人数は延べ人数
※国別の受入人数が不明の場合はカウントしていない
※特別行政区、自治領等は1国としてカウント

4. 受入人数が多い競技（上位10競技）別の国（上位3か国）

競技名	1	2	3	その他
①柔道(219)	韓国(16)	ロシア(12)	台湾・チャイニーズタイペイ(9) ブラジル(9)	その他(173)
②空手(94)	マレーシア(8) 台湾・チャイニーズタイペイ(8)	アラブ首長国連邦(7)	マカオ(5) ベトナム(5) ウズベキスタン(5)	その他(56)
③剣道(48)	オーストラリア、韓国、中国、フランス、アメリカ等48国(1)			
④レスリング(39)	イラン(4) カザフスタン(4) ドイツ(4) ロシア(4)	アゼルバイジャン(3) アメリカ(3) 中国(3)	ウクライナ(2) オランダ(2) スペイン(2) トルコ(2)	その他(6)
⑤バスケットボール(24)	アメリカ(2)	オーストラリア、スイス、フランス、ドイツ等22国(1)		
⑥日本障がい者スポーツ協会(21)	ドイツ(9)	カナダ(2)	イギリス、ブラジル等10国(1)	
⑦トライアスロン(13)	スペイン(2)	オーストラリア、アメリカ等11国(1)		
⑧チアリーディング(12)	フィリピン(2) タイ(2)	イギリス、韓国、シンガポール等8国(1)		
⑨相撲(12)	アメリカ、オーストラリア、タイ、ロシア等12国(1)			
⑩ラグビーフットボール(10)	香港(3)	シンガポール(2)	インド、韓国等5国(1)	

※カッコ（ ）の中の数字は受入人数

※ただし、日本オリンピック委員会が行った受入（受入人数13名）は特定の競技の国際会議等ではないため、カウントしていない
※人数は延べ人数
※「その他」は派遣国上位3か国以外をカウント

国・地域名	合計	主な受入競技
①韓国	22	柔道(16)、空手(2)、剣道・チアリーディング・ラグビーフットボール・日本障がい者スポーツ協会(1)
①台湾・チャイニーズタイペイ	22	柔道(9)、空手(8)、剣道・野球・チアリーディング・ラグビーフットボール・相撲(1)
③ドイツ	21	日本障がい者スポーツ協会(9)、柔道(6)、レスリング(4)
④ロシア	18	柔道(12)、レスリング(4)、剣道・相撲(1)
⑤香港	17	柔道(7)、空手(4)、ラグビーフットボール(3)
⑥アメリカ	16	柔道(6)、レスリング(3)、バスケットボール(2)
⑦スペイン	13	柔道(4)、トライアスロン・レスリング(2)、バスケットボール・剣道・空手・ダンススポーツ・日本障がい者スポーツ協会(1)
⑧ブラジル	11	柔道(9)、剣道・日本障がい者スポーツ協会(1)
⑧マレーシア	11	空手(8)、柔道(2)、野球(1)
⑩カザフスタン	9	レスリング(4)、空手(3)、柔道(2)
⑩カナダ	9	山岳・日本障がい者スポーツ協会(2)、バスケットボール・柔道・剣道・トライアスロン・野球(1)
⑩中国	9	レスリング・空手(3)、柔道(2)、剣道(1)
⑩マカオ	9	空手(5)、柔道(3)、剣道(1)

※カッコ（ ）の中の数字は受入人数

※地域は、外務省ホームページの区分に基づき、色別に分類